

# 公 告

次のとおり事後審査方式一般競争入札（電子入札）に付します。

なお、入札等については、関係法令に定めるもののほか、本公告によるものとします。

平成29年9月7日

愛知県住宅供給公社理事長 伊藤 輝 明

## 1 対象工事

### (1) 工事名

公社サンコート黒川外壁改修等工事

### (2) 工事場所

名古屋市北区黒川本通り二丁目地内

### (3) 工 期

平成30年6月29日まで

### (4) 工事の概要

\*下記住宅の外壁改修等工事一式

- 公社サンコート黒川 平成2年度建設 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) 地上14階、地下2階建  
1,2階 店舗（工事対象外）  
3～14階 共同住宅91戸、集会所  
地下1,2階 駐車場

外部吹付下地施工調査

外壁塗装改修

外壁欠損部及びクラック等の補修

外壁打継部及びサッシ廻り等のシーリング打替

住戸共用部分 玄関扉、PS扉、消火栓扉、共用盤鉄部塗装

各所配管（縦樋、SGP等）及び隔壁板、ドレン塗装

遊具、外灯、フェンス等塗装

屋上等防水改修

防火扉ドアクローザー、エアタイトゴム取替及び点検

既設鉄骨及び階段囲い（パンチング）固定金具取替及び点検

各所ベランダ手摺ガラス及び共用部防風スクリーン清掃、シーリング打替

各所住戸廊下、ベランダ及び敷地内清掃（U字溝内含む）

1階駐輪場外壁・天井及び4～13階共同住宅部分の一部の共用廊下天井照明器具LED交換

地下駐車場スロープ壁面照明器具LED交換

\*施工条件

- 1 1階～2階店舗施設、3階～14階公社賃貸住宅であるため、店舗施設の使用と、公社賃貸住宅の居住を継続しながら、施工することとし、騒音、汚損及び飛散に十分配慮して作業を行うこととします。
- 2 大型車両の出入り、足場等の作業時は、安全対策に十分留意して、店舗及び賃貸住宅自治会等関係者との調整及び周知を確実にを行い、作業を行うこととします。
- 3 工期内において、公社賃貸住宅の室内改修工事があるため、施工の際は、業者との工程調整を行うこ

とします。

4 工事箇所は隣地建物と距離が近い場合防犯対策等には十分配慮することとします。

(5) 予定価格等

ア 予定価格 金88,894,800円(うち消費税及び地方消費税の額 金6,584,800円)

イ 基準価格 有 (低入札価格調査制度の対象工事)

(6) 入札方法等

ア 本入札は、あいち電子調達共同システム(CALS/EC)における電子入札サブシステム(以下「電子入札システム」という。)により実施するため、電子署名及び認証業務に関する法律(平成12年法律第102号)に基づき、主務大臣の認定を受けた特定認証業務を行う者が発行する電子的な証明書を格納しているカードのうち電子入札コアシステムに対応しているカードにより、利用者登録を行わなければなりません。

イ 詳細な入札方法は、愛知県住宅供給公社建設工事等電子入札実施要領(平成26年7月1日施行)によるものとします。

ウ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する金額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載してください。

エ 入札の回数は1回とし、入札書と併せて工事費内訳書を送信してください。

2 競争参加資格

本工事の入札に参加することができる者は、次に掲げる要件を備えた者とします。

(1) 愛知県建設部が発注する建設工事のうち、建築工事業に係る競争入札に参加する資格を有する者であること。

(2) 建設業法(昭和24年法律第100号)第3条の規定により、建築工事業について特定建設業又は一般建設業の許可を受けていること。ただし、下請代金の総額が6千万円以上となる場合には、特定建設業の許可が必要となります。

(3) 平成28年度及び平成29年度の愛知県建設部入札参加資格者名簿に記載されている営業所が建設業法上の主たる営業所であり、かつ、当該営業所の所在地が名古屋市内にあり、当該営業所で建築工事業を営んでいること。

なお、「営業所」とは、建設業法第3条に規定する営業所をいいます。

また、「主たる営業所」とは、建設業法に基づく建設業の許可申請時(変更申請含む)に届け出た主たる営業所をいいます。

(4) 平成28年度及び平成29年度の愛知県建設部における入札参加資格の認定において、認定された建築工事業の総合点数が730点以上であること。

(5) 元請けとして、過去15年間(平成14年4月1日から入札参加申込書(以下「参加申込書」という。)を提出する前日まで)に、次の(a)又は(b)に掲げる工事を完了した実績(以下「参加資格施工実績」という。)があること。

(a) 鉄筋コンクリート造の建築物の新築、増築又は改修工事

(b) 鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の新築、増築又は改修工事

なお、共同企業体の構成員としての参加資格施工実績は、出資比率が20%以上の工事に限るものとします。

また、共同企業体として参加申込みをする場合で、当該共同企業体としての参加資格施工実績がない場合は、構成員の1者が元請けとしての施工実績を有していること。

(6) 建設業法第26条に定める建築工事業に係る主任技術者又は監理技術者を配置できること。ただし、請負代金の額が7千万円以上となる場合には、配置される技術者は本工事に専任であることが必要となります。

また、下請代金の総額が6千万円以上となる場合には、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者を監理技術者として配置することが必要となります。

なお、建設業法施行令第27条第2項に該当する場合には、同一の主任技術者が兼務できることとなりま

す。

- (7) 前号に掲げる主任（監理）技術者は、参加申込書を提出する前日までに元請けとして完了した(5)に掲げる工事に従事した経験を有していること。

また、従事した経験は監理技術者、主任技術者又は現場代理人として経験した工事のみに限定されるものではありません（現場担当者、現場主任等の技術者として、現場に従事した経験であっても添付資料で確認できるものであればよいものとします。）。

- (8) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (9) 参加申込書の提出日から当該工事の落札決定までの間、愛知県住宅供給公社指名停止取扱要領に基づく指名停止を受けていないこと。
- (10) 参加申込書の提出日から当該工事の落札決定までの間、「愛知県が行う事務及び事業からの暴力団排除に関する合意書」（平成24年6月29日付け愛知県知事等・愛知県警察本部長締結）及び「愛知県が行う調達契約からの暴力団排除に関する事務取扱要領」に基づく排除措置を受けていないこと。
- (11) 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条の規定による更生手続開始の申立てがなされていない者又は民事再生法（平成11年法律第225号）第21条に基づき再生手続開始の申立てがなされていない者とし、ただし、会社更生法に基づく更生手続開始の決定を受けた者又は民事再生法に基づく再生手続開始の決定を受けた者で、再度の入札参加資格審査の申請を行い認定を受けた者については、更生手続開始又は再生手続開始の申立てをなされなかった者とみなします。
- (12) 入札参加を希望する者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。（基準に該当するものの全てが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）

なお、上記の関係がある場合に、辞退する者を決めることを目的に当事者間で連絡を取ることは、愛知県住宅供給公社建設工事関係入札者心得書第9条の2第2項の規定に抵触するものではありません。

#### ア 資本関係

以下のいずれかに該当する場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除きます。

- (ア) 親会社と子会社の関係にある場合
- (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

#### イ 人的関係

以下のいずれかに該当する場合。ただし、(ア)については、会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除きます。

- (ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
- (イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

#### ウ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

その他上記ア又はイと同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合

- (13) 経常建設共同企業体として参加申込書を提出した場合、その構成員は、単体として参加申込書を提出することはできません。

### 3 設計図書の配布等

- (1) 設計書、図面及び仕様書（以下「設計図書」という。）について

設計図書の閲覧及び配布の電子化を実施しますので、設計図書をあいち電子調達共同システム（CALS/E C）の入札情報サービスの入札公告からダウンロードしてください。なお、設計図書はパスワード付きのファイルになっていますので、ポータルサイトよりパスワードを入手してください。

ポータルサイト：<https://www.chotatsu.e-aichi.jp/portal/index.jsp>

#### ・設計図書

（「入札情報サービス」－「入札公告」－「検索（調達機関は愛知県住宅供給公社）」）

#### ・パスワード

（「利用者ICカード登録・入札参加資格申請・電子入札」－「電子入札ログイン」－「確定（調達機関

は愛知県住宅供給公社」－「電子入札システム」－「調達案件一覧」－「調達案件名称（本案件をクリック）」－「工事または業務内容」欄を参照

(2) 本公告及び設計図書に対する質問及び回答

ア 本公告及び設計図書に対する質問は、次のとおり文書（様式自由。ただし愛知県住宅供給公社理事長あてとして、代表者名により提出してください。）を郵送（書留郵便に限る。）又は持参することにより受付期間内必着で提出してください。

(ア) 受付場所

愛知県住宅供給公社 総務企画課 総務・人事グループ 契約担当  
名古屋市中区丸の内三丁目19番30号（郵便番号460-8566）  
電話（052）954-1348

(イ) 受付期間

平成29年9月8日（金）から平成29年9月15日（金）まで（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。）

ただし、持参する場合は、上記期間の午前9時から午後5時まで（正午から午後1時までを除く。）とします。

イ 上記の質問に関する回答は、質問書受領後すみやかにを行います。

なお、その回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(ア) 閲覧場所

ア(ア)に同じ。

(イ) 閲覧期間

平成29年9月21日（木）から平成29年10月3日（火）まで（日曜日、土曜日及び休日を除く。）の午前9時から午後5時まで（正午から午後1時までを除く。）

4 参加申込書等の提出期間等

(1) 入札に参加を希望する者は、参加申込書を電子入札システムにより提出しなければなりません。その際、本公告と併せて提示してある「入札参加申込書」を添付資料として送信してください。

(2) 期限までに参加申込書を提出していない者は入札に参加することができません。

・参加申込書の提出期間

平成29年9月7日（木）午前9時から平成29年9月15日（金）午後5時まで

（電子入札システムの稼働時間は、日曜日、土曜日及び休日を除いた日の午前8時から午後8時まで）

5 入札書及び工事費内訳書の提出期間

平成29年10月2日（月）午前9時から平成29年10月3日（火）午後5時まで（入札書受付締切予定日時）

（電子入札システムの稼働時間は、日曜日、土曜日及び休日を除いた日の午前8時から午後8時まで）

6 開札予定日時及び開札場所

平成29年10月4日（水）午前9時00分

愛知県住宅供給公社 総務企画課

7 入札保証金

入札保証金の納付については、免除します。

8 入札の無効

(1) 愛知県住宅供給公社財務規程第102条（入札の無効）及び愛知県住宅供給公社建設工事等電子入札実施要領第15条（電子入札の無効）に該当する入札は、無効とします。

(2) 本公告に示す入札参加資格のない者が行った入札、事後審査に必要な書類等に虚偽の記載をした者が行った入

札及び愛知県住宅供給公社建設工事関係入札者心得書において示す条件等の入札に関する条件に違反した入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には、落札決定を取り消します。

なお、落札決定時において2に掲げる資格のない者は、入札参加資格のない者に該当します。

また、入札書受付締切予定日時までに送信のない入札、電子署名及び電子証明書のない入札、及び代表者が変更されているにもかかわらず変更前の名義人のICカードを使用する等、ICカードを不正に使用して行った入札も無効とします。

## 9 落札者の決定方法

(1) 1(5)アの予定価格の範囲内で最低の価格をもって入札をした者を落札候補者として事後審査を行い、入札参加資格を有することを確認した上で落札者とし、全ての入札参加者に対し落札決定通知書を送信するものとします。なお、予定価格の範囲内で最低の価格をもって入札をした者が複数いた場合は、電子くじにより落札候補順位を決定します。

(2) 落札候補者は、開札日から2日(日曜日、土曜日及び休日を除く。)以内に事後審査に必要な書類を持参により提出しなければなりません。ただし、最低の価格をもって入札した者でない場合でも、事後審査に必要な書類を求めることがあります。

ア 事後審査に必要な書類の提出場所

3(2)ア(ア)に同じ。

イ 提出部数

1部

ウ その他

(ア) 提出書類に係る費用は、提出者の負担とします。

(イ) 提出された書類は申請者に返却しません。また、原則として公表せず、無断で使用することはしないものとします。

エ 落札候補者の事後審査の結果、入札参加資格を有しないことが判明した場合は、適格者が確認できるまで、次順位の低価格をもって入札した者を新たな落札候補者として事後審査を行うものとします。この場合は(2)中「開札日」とあるのは、「上位の落札候補者の審査が終了した日」と読み替えるものとします。

オ 落札候補者の入札価格によっては、その者により当該契約書の内容に適合した履行がなされない恐れがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなる恐れがあつて、著しく不相当であると認められるときは、次順位の低価格をもって入札した者を新たな落札候補者とします。

(3) 事後審査において入札参加資格がないと認められた者は、その理由の説明を求められます。説明を求めるときは、入札参加資格不適格通知書の通知日の翌日から起算して5日(日曜日、土曜日及び休日は含まない。)以内にその旨を記した書面を郵送又は持参により提出しなければなりません。

理由は、説明を求められた日から5日以内に書面で回答します。

## 10 契約書の作成の要否

要

## 11 契約保証金

(1) 落札者は、愛知県住宅供給公社財務規程第105条の規定に基づく契約保証金を納めなければなりません。

(2) 落札者が、次の各号のいずれかに該当するときは、契約保証金の全額又は一部の納付を免除するものとします。

ア 公社を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。

イ 公社を債権者とする公共工事履行保証証券による保証を付したとき。

(3) 契約保証金の納付は、次に掲げる担保の提供をもって代えることができます。

ア 有価証券(国債又は地方債)の提供

イ 銀行等(出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律(昭和29年法律第195号)第3条に規定する金融機関)又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2

条第4項に規定する保証事業者)の保証

12 支払条件

愛知県住宅供給公社工事請負契約約款の規定に基づき前払金及び部分払を行います。その条件については、次のとおりとします。

(1) 前払金

公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第5項に規定する保証契約を締結したときは愛知県住宅供給公社財務規程第41条により、請負代金の10分の3を超えない範囲内において前払金の支払を請求することができます。

(2) 部分払

なし。

13 関連情報を入手するための照会窓口

3(2)ア(ア)に同じ。

14 特定の不正行為に対する措置

(1) 本件契約に関し、談合、贈賄等の不正な事実が判明した場合には、損害賠償を請求します。また、損害賠償の請求にあわせて本件契約を解除することがあります。

(2) 本件契約に関し、妨害又は不当要求を受けた場合は、警察へ被害届を提出しなければなりません。これを怠った場合は、指名停止措置又は競争入札による契約若しくは随意契約において契約の相手方としない措置を講ずることがあります。

(3) 契約を締結するまでの間に、落札者が愛知県住宅供給公社指名停止取扱要領の別表各号に掲げる措置要件のいずれかに該当することが明らかになった場合、又は、「愛知県が行う事務及び事業からの暴力団排除に関する合意書」に掲げる排除措置(以下「排除措置」という。)の対象となる法人等のいずれかに該当することが明らかになった場合は、契約を締結しないことがあります。この場合、愛知県住宅供給公社は一切の損害賠償の責を負いません。

(4) 本件契約の締結後、請負者が排除措置の対象となる法人等のいずれかに該当することが明らかになった場合には、本件契約を解除し、損害賠償を請求することがあります。

(5) 本件契約の履行にあたって、請負者が工事の下請契約又は資材、原材料の購入契約その他の契約(以下「下請契約等」という。)を締結した場合において、下請契約等の相手方が排除措置の対象となる法人等のいずれかに該当することが明らかになった場合は、発注者は、下請契約等の解除を求めることがあります。このとき、請負者が下請契約等の解除に応じなかった場合は、請負者との契約を解除し、損害賠償を請求することがあります。この場合、愛知県住宅供給公社は一切の損害賠償の責を負いません。

15 その他

(1) 入札参加者は、本公告を熟読し、公正かつ適正に入札すること。

(2) 事後審査に必要な書類等に虚偽の記載をした場合においては、愛知県住宅供給公社指名停止取扱要領に基づく指名停止を行うことがあります。

(3) 現場説明会は実施しません。

(4) 事後審査に必要な書類等の記載内容が不明確で本件工事の入札参加資格を確認できない場合には、説明を求めることがあります。

(5) 1(3)に記載した工期は、事情により変更することがあります。

(6) 配置予定の主任(監理)技術者について

ア 落札者は、事後審査に必要な書類等に記載した配置予定の技術者を当該工事の現場に配置すること。

イ 確認申請書提出時に配置予定の主任(監理)技術者が特定できない場合には、複数の候補者を記入することができますが、その場合は、記載する全ての者が2(6)に示す技術者としての条件を有していること。

ウ 工事工期が重複する複数の工事（他の機関の発注も含む。）に同一の技術者を配置予定の技術者とした入札に参加している場合は、それらの工事の入札のうち一つの入札の落札者又は落札候補者と決定された時点で、それ以降に行われるその他の入札は辞退しなければなりません（専任性が求められない場合を除く）。この場合は入札書の提出期間内に、入札辞退届を送信してください。

なお、入札書を送信した後に辞退する事由が生じた場合は、3（2）ア（ア）と同じ場所に辞退する旨を連絡し、速やかに辞退届を書面で提出してください。

エ 実際の工事に当たって、事後審査に必要な書類に記載した配置予定の主任（監理）技術者を変更できるのは、病休、死亡、退職等の場合に限りです。

（7）問い合わせ先

3（2）ア（ア）に同じ。